

OKAME STYLE



丘女会会報
「OKAME STYLE」
第8号
令和4年6月発行
編集 丘女会広報部
TEL : 092-561-0662

コンプレックスだった病気は今は強み。 映像を武器にこれからも生きる

2021年 映画甲子園最優秀作品「今日も明日も負け犬。」監督
映像クリエイター

にしやま なつみ

74回生 西山夏実さん

それは突然やってきた

中学2年生の時に、急にご飯が食べられなくなり1か月で7kg痩せて、栄養失調で右半身に麻痺がきて友達の顔が見えなくなって倒れました。病院で検査しても、原因がわからず治療法がない「起立性調節障害」と診断。医師から「そのうち朝起きられなくなるよ」と言われました。登校を続けていたけれど段々と起きられなくなってしまっ、保健室の先生の勧めで、中学2年生から保健室登校を始めました。

保健室登校で出会った友人を 笑わせたい、とにかく変わりたい

保健室登校の子がもう一人いて、その子が全く笑わない子でした。その子を笑わせたいと思うようになり、自分も変わりたいと思っていた頃に進路を決める時期になりました。午前中は血圧が低くゆさぶっても、意識がない状態で記憶がない。夜は血圧が上がり寝ようとするけれど、寝られません。授業も普通に受けられないので、学力が中学1年生で止まっていた。筑紫丘を受けるといふ友人と一緒に学校見学に行ったら、高校生たちがキラキラしてとても楽しそうにしていて、直感で「あ、ここだ！」って思って、そこから、猛勉強です。夜は血圧が高く寝られないから、夜に1日18時間くらい勉強していました。周りの大人はみんな「受かっても通えないから無駄になる」と言っていました、「ここに行かないと、ずっとこのままだ」と思って必死でした。



■映画「今日も明日も負け犬。」のお話を聞かせてください

変わりたいと思ったきっかけが保健室登校の友人。でも、高校受験勉強で保健室登校をやめてしまって、その友人も同時にやめてずっと音信不通でした。筑紫丘に合格して、その後偶然に車でその彼女に再開。映像作品は少しずつ作っていたので、私が作った映像を見てもらったら彼女が笑ってくれました。私の病気のことは高校の担任の先生しか知らない感じで、徐々に学校に行けなくなっていました。そのことを筑紫丘の友人に話したら理解してくれて、中学時代の保健室登校の時のことを小説に書いてもらいました。中学で病気になるって、彼女を笑わせるまでのことを小説にしてそれが原作で映画にしたのが「今日も明日も負け犬。」です。

起立性調節障害で全日制に行く子は ほぼいない。映画を作りながら学校に 行っている子もいない。相談できる人 がいなくてやめたかった時もあった

スタッフは約30人。半分は筑紫丘生で他は声かけで集まってくれた高校生のみ。撮影は平日の夕方から。土日に撮りたくない終わらないから、土日は朝からです。監督の私が行かないと何も進みません。寝ると起きられないから金曜の夜は寝ずに行っていました。「何で映画は作れるのに学校には来られないんだろう」と見られるだろうと思いつつ、続けることが辛いときもありました。学校を変えるか、どっちかやめたほうが、身体的にも精神的にも楽になって思う時もありました。

■そんな中の高校生活はどうでしたか？

映画のきっかけの本を書いた脚本の小田実里さん、私を理解してくれた主演女優志望の古庄奈々夏さんは筑紫丘の同級生。その他にも学校に朝からいけない日が多くなっても理解してくれる子がいたのは、学校選びは正解だったと



< Profile >

高 74 回生

2022年3月 福岡県立筑紫丘高校卒業

在学中の監督作品「今日も明日も負け犬。」は、2021年 NPO法人映画甲子園主催 高校生のための eiga worldcupにてグランプリ受賞。そのほか、女子演技賞、編集賞、音楽賞の各部門最優秀賞も獲得。ドキュメンタリーでは、最優秀監督賞受賞。

「今日も明日も負け犬。」上映

2022.6.5 茅ヶ崎映画祭イオンシネマ茅ヶ崎にて上映

2022.6.22~26 ドイツハンブルク日本映画祭出場

2022.10.28~30 全米学生映画祭出場

そのほか 中国、フランスでも上映予定

思います。終礼からしか行けなくても夕方から「おはよう」と言ってくれるだけで本当に救われていました。中間、期末テストを低血圧の寝ている状態で受けるから、点数は散々。夜中に人の何倍も勉強して追いつくなかで、「テスト当日に起きないといけない」「起きられなくて、受けられなかったら留年する」というプレッシャーも強かったけど、在学しながら、映画で表現し訴えることの方が意味があると思いました。

■その活動の原動力はなんですか？

頑張れなかった自分と比べること。何かしたいのに、意に反して何もできない。頑張れない期間がずっと続いたから、そのときに比べたら頑張れている自分が今いて、だったら大丈夫だと思います。何かに打ち込めるのはとても幸せなことだなとわかりました。

■これからやりたいことはなんですか？

作品自体は福岡を出て、全国で上映して、アメリカ、フランス、ドイツ、中国でも上映が決まりました。いろんな国にも同じ病気はあるけれど、外国だったら環境も違って、反応も違ってくるだろうから楽しみです。周りにいる、同じ病気を持って動けずに、社会からはみ出ている子が働きやすい社会を作れたらいいなと思います。

渡航歴は30カ国 200都市！ 働き方はいくらでもデザインできる！ 総合職として働きながら「世界一周」

株式会社ガイアックス
Web マーケティングコンサルタント

ひじい えりな
60回生 肘井絵里奈さん

■今のお仕事は？

株式会社ガイアックスでWebマーケティングコンサルタントとして働いています。お客様のサービスや商品の売上アップのために、Webを活用したマーケティングの戦略を立てるお仕事です。パソコン1台あればできる仕事なので、新型コロナウイルスが蔓延する前からオフィスとリモートを使い分けており、世界一周中もパソコンを片手に世界各地を転々としながら仕事をしていました。

海外旅行と仕事のどちらも
諦めたくない！



< Profile >

高60回生

九州大学芸術工学部芸術情報設計学科
卒業

2014年 株式会社ワークスアプリケーションズ
2017年 株式会社ガイアックス

働き方に関する記事掲載

・日経ビジネス 2020年9月14日号

「変わるか？ 日本型雇用 働き方ニューノーマル」

・日経プレミアシリーズ「さよならオフィス」

■旅行と仕事を両立させるには？

会社員と海外旅行の両立は難しい。会社員になってすぐに気づいたことです。私は南米や中東など移動だけで数日かかるような遠いところへの旅行も好きなのですが、一般的な会社では新卒が与えられる有給休暇は年10日ほど。会社員になると気軽に旅に行けない現実に直面しました。そんなとき、ふと欧米諸国ではロングホリデーが一般的に受け入れられていることに気づきました。「なぜ日本ではロングホリデーは認められていないのか。日本でも実現可能なのでは？」そんな思いがこみ上げてきて、「自分自身でこの間に答えを出したい！」と仕事と旅行が両立できる働き方がないかを模索し始めました。

「3ヶ月働いて、10日間海外旅行」の ワークスタイルへ

幸運にも私の考えに共感してくれる方に出会い、「自分自身で周りを説得して実現できるなら」という条件で、今の会社に転職しました。最初の1年間は仕事を覚えたり、クライアントや同僚との関係を構築したり、と休みは取れませんでした。1年後「10日間インドに行こう」と決意。もちろん、旅行中に発生する仕事を他の人に任せたり、クオリティが落ちてしまったりすると周りからの理解を得るのは難しいので、旅行中に発生する仕事は旅行前後に割り振るなど、周りの人に迷惑をかけない環境を徹底的に作りました。最初は「本当に実現可能な？」と懸念を示されましたが、特に仕事に支障なく旅を終えたことで安心していただけ、回を重ねるごとに理解者が増えていきました。後輩からは「休みを取ることにどこか申し訳なさを感じていたのですが、肘井さんのおかげで休

暇に対する意識が変わりました！僕もプライベートも仕事もどちらも謳歌できるような生き方がしたいです！」と嬉しい言葉をもらい、部長には「部署全体の有給消化率も上がった」と感謝されました(笑)

総合職として働きながら 「世界一周」に挑戦

結婚、出産というライフステージを考えたとき、このペースだと行きたい国すべてを巡ることが難しいことに気づき、「一年間、世界一周に行こう」と思い立ちました。会社に相談したところ、二つ返事で快諾。担当していた業務を持ったまま、世界各地を転々としながら働いています。

■おすすめの旅行先、そしてこれからのこと

ウズベキスタンが一番印象に残っています。シルクロードの中間に位置するサマルカンドという都市では、中国とヨーロッパの文化が融合したきれいな建築物が立ち並んでおり、その美しさに時が経つのを忘れました。また、冒険的な旅行も好きなので、南米のアマゾン川でのピラニア釣りや、ニュージーランドでの氷河探索なども最高でした。これからも働きながら世界を巡りたいと思っています。

■高校生へのメッセージ

働き方はいくらでもデザインできます。文系か理系か、どの学部を受験するのかなどの進路選択を迫られて焦りやすい時期かも知れませんが、大学に行った後でも、会社員になった後でも、いくらでも人生の方向転換はできます。今は気楽に構えて日々の学生生活を楽しんでほしいです。



メキシコ「テオティワカン遺跡」にて

「紹介してほしい人」を募集します

OKAME STYLE は年2回の発行を予定しています。今後の紙面に取り上げてほしい卒業生をご紹介します。自薦、他薦どちらでも構いません。「こんな素敵なお友達がいます」「この人の話が聞きたい」。多数のご推薦をお待ちしています。

広報委員長 小川訓名 (高36回生)

連絡先：同窓会事務局

oka.dousoukai@gmail.com

制作ボランティアスタッフも募集しています。興味のある方は広報スタッフもしくは事務局までご連絡ください。



丘女会のシンボルマーク

おかめ桜の花言葉は「豊かな教養、善良な教育、しつやか、理知に富んだ教育」

女優になりたかった、多才なソムリエ。 今やっていることは運命として楽しみたい

東京赤坂ワインバー あ・ら・か〜づ 経営者

あらかわ り え

42 回生 荒川理映 さん

■お店のこと教えてください。

ワインは昔から好きで、ブラインドテイスティングできるかな？と思って、ワインスクールに通ってみました。「ソムリエの免許でもとるか」と思って免許をとったら「ワインバーの店長やってくれ」と言われ2年半くらいして2009年に独立しました。今の店は向いがサントリーホールで、前の店を引っ越して1年半くらいです。説得力があるワインとか「あっ、おいしい」と思ってもらうワインを扱わないと、やっている意味がないと思っています。決して安いワインばかりじゃないけど、絶対おいしいと思えるワインを見つけて、知ってもらおうというのが、うちの一番大事にしているところです。食事もそうですけど、ちゃんとした素材を扱うので、決して安上がりではないけれど、他のところが出している食べ物に比べたら、絶対にコスパはいい自信があります。自分がおいしいものを提供するの、店をやっている人の最低限のお客様に対するマナーだと思っています。

誰にも話しかけてほしくない「今ごめん、ちょっと独りにして」っていうくらい震えるほどおいしい物を口にしたときに、それがたまたまワインだったんです

母はうなぎ屋をやっていて「飲食業は絶対やるな」と言っていました。こんな悪い仕事はない。忙しいし、体力は使うし、お金にならないし。「800円のうなぎ丼を売って、手元に残るのは30円だと思いなさい」と言われたことがありました。でも、ワインに出会ってしまったんです。



フィルムオーケストラ出演時

■女優を目指して進学した大学

小学校の時に「いろんな役でいろんなことができるから」と思って夢は女優でした。中学では吹奏楽でクラリネット、高校ではバスクラリネットで音楽にはまりました。ずっと音楽室に入り浸っていました。女優をするなら外国語をやらなくちゃと思って、西南学院大学へ進学。大学では管弦楽団でチェロをしながら演劇の学校にも通っていました。卒業して博多大丸に就職して会社員をしながら、20歳代は少しだけ映画にも出ていました。東京の劇団ひまわりを受けて特待生に受かったのですが実感が湧かず行きませんでした。



フィルムオーケストラ出演時

仕事は最初から絶対これになるって決めている人もいれば、いろいろ選択肢があって決めた人もいるし、給料がいいという理由で決める人もいれば、興味があるとか、人の役に立つとか理由はいろいろあると思いますが、私の場合はざっくり言うと何となくこうなりました。自分なりに一生懸命やりたいことにトライしてきたけれど、なぜかこうなることになったので、「私にはもうこれですね、これが運命なんですね、頑張ります！」と言って楽しむしかありません。

美味しい物を口にした時
いろんな意味で救われて、沢山の
ことが浮かんで来て、涙が出る瞬間、
そんな風に役にたったらすごいな
と思っています

■今からやりたいことは？

すごい景色がいいところで、みなさん



< Profile >

高 42 回生

西南学院大学文学部フランス語専攻卒業

1997年 上京して会社員と俳優業をかけもちする間に本格的にワインの本当の魅力にはまり、飲食業へ転職

2003年 ソムリエ免許取得後、他の道と迷いつつ複数の飲食店勤務

2006年 白金高輪さんごんめ立ち上げスタッフ及び店長となる

2009年 白金台あらか〜づにて独立

2020年 移転の為赤坂あ・ら・か〜づ開店

にワインを飲んでほしいんです。山の頂上のような、高層ビルじゃなくて、すごい高い位置から真っ青な草原とか、そういう自然の中でワインを飲んでほしいといつも思っていて、それをやりたいんです。多分、十年位経ったら、緑を見下ろすところにワインバーを出していると思います。福岡に小さいワインバーを出す話もありますよ。

■高校生へのメッセージ

勉強はしなくても何となく生きてはいけるけど、やはり勉強してやれることを最大限、大学生まではやったほうが、その後の選択肢っていうのは広がるなと思いました。高校生のときは「こんなに勉強して何になるの？」といろいろ思いましたが、問題はそこではなかったんだなど、大人になってつくづく思います。私は「この人はたくさんの選択肢があった中で、あえてワインバーを選んだ」と思ってもらえたらお客さんも自分を大切にしてくれると思っています。言われたことをやって「できました」ではなく、常に自分の頭で考えながら生きていくことはずっと大事にしてほしいし、勉強はやっぱり無駄にはならない。勉強してしすぎることもない。ずっと自分で常に考えて生きていくというのを、せっかく筑紫丘に入ったのだから、必ずできる人たちなので、ぜひそっちの方向でいってほしいなと思います。

人生 100 年、自分らしく美しく生きよう！

いきいきと生きる、ミセス日本 60 代グランプリ

ライフスタイルデザイナー・サイクリスト・裏千家茶道講師
ミセス日本グランプリ・ミセス日本の会九州支部副代表

よしずみ やすい あきこ

30 回生 吉住 (安井) 章子 さん



< Profile >

高 30 回生

西南学院大学国際文化学部卒業

1982年銀行に就職。翌年OAメーカーへ転職。結婚出産を経て、人材派遣会社、広告制作会社へと転職。アジアフォーカス福岡国際映画祭、ユニバーシアード福岡大会選手村運営・文化交流事業、通販企業の販促企画などを担当。60歳で退職後、2019年ミセス日本グランプリに出場し、60代グランプリを受賞。2020年より久留米市観光アンバサダー・KURUMECONNE を務める。

(ミセス日本グランプリ)

<https://www.mrs-nippon-grandprix.com/>

飾ったりするのは嫌い。素でいたい
そよ風のように人を心地よくする
存在でいたい

本格的に自転車始めたのは50歳から。石垣島を自転車で100km走るイベントに誘われたのがきっかけです。朝7時から夕方4時まで、5kmも走ったこともないのに辛かったけど完走したら、達成感、爽快感が半端なくて自転車が好きになりました。それからいくつかのレースで表彰台にも。トライアスロンは60歳になってから始めました。最近では筋トレにハマっています。「筋肉はいくつになっても鍛えられる」という言葉が励みです。

くフルタイムで仕事をしてきました。

■仕事の経歴は？

銀行員から、ちょうど開発されたばかりのワープロのインストラクターに転職。でも当時は結婚で辞めざるを得なくて、人材派遣会社に登録してコンピュータのデモンストレーターに。それから派遣をするほうの立場になって、スタッフや博覧会のコンパニオンを教育したり。だんだんマーケティングに興味を持ち、また転職して星野村の天文台「星の文化館」のコンセプトや施設づくりを経験しました。その次は国際イベントの仕事をしたくて、福岡開催が決定したユニバーシアード福岡大会の仕事がやりたい、といろんな人に言っていたら、開閉会式行事を受託した会社の友人が誘ってくれて、選手村でディスコを作ったりして、すごく面白かった。ラッキーなことにやりたい仕事に次々に就くことができました。

やりたいことは
「こういうことがやりたい」と
常に発言しておく

そうしたら誰かが誘ってくれる。当時はSNSもないから、いろんなところでいろんな人に話したり、よくやっていたと思います。

■自分らしさとは？

私はスポーツがすごく好き。美容と健康には、高い化粧品ではなくて、汗をかいたり、よく寝たり、おいしいものを食べるのが一番いいことだと思います。



Photo by 砂田弓弦

■今はどんな活動を？

「ミセス日本の会」というミセスコンテストのファイナリストが集まる団体で、クリーンボランティアや募金などの社会貢献活動のほか、広報・PRアドバイザーとして自治体の観光振興のお手伝いや、タレント事務所に所属してTVCに協役で出演したりしています。

■ミセス日本グランプリとは？

年齢を重ねることで得られるミセスの内面と外面の両方の美しさを評価するコンテストです。大学の頃から「美しい女」をテーマに研究して、「美しく生きる」ことにこだわりがあって、60歳で会社を退職後、「自分は美しく生きてこれただろうか？」を第三者に評価してもらいたいと思ってチャレンジしました。コンテストの基準は、エイジング度が一番ですが、スピーチの内容や歩き方などパフォーマンス度も重要。私は目標をクリアするために作戦を立てたり、考えたりするのがすごく好きなので、リビングに線を引いてきれいに歩く、常に鏡を見るなど、半年くらい人が変わったみたいに努力しました。第一次予選のとき審査員に「一人ひとりのスピーチを笑顔で聞いてすごく良かったです」と言われて、そんなところも見られていたと後で分かりましたがとても良い経験でした。

■美しく生きるって？

大学で日本文学を専攻しましたが、卒業論文が文学作品から考察する「美しい女」論。

本当に「美しい女」って、
いきいきと生きている人、
外見じゃなくて、
生き方が美しいとか、精神的なもの

私は、本当に自由でないと、美しく生きられない。精神的にも経済的にも自立して、家庭や配偶者に依存しない自分らしい生き方がしたいと心に決めて、子ども二人を出産した派遣社員の頃は産休も育休もなかったけれど、ずっと休みな

編集後記

・取材はいろんな方の人生に触れることができ感慨深いものがあります。特に今回は感情を揺さぶるお話が聞けて泣いたり笑ったり。皆様のこれからのご活躍大変楽しみにしております。出会えたことに感謝です。(小川)
・もう還暦を迎えたいけれど、人生100年、毎日、毎年、笑顔で少しずつでも成長していきたいと制作のたびに改めて思います。今回もありがとうございました。(太田)

【制作】丘女会広報部：小川訓名(高36)、太田由美子(高32)、米澤一江(高49) デザイン：藤田明子(高39)